

G I G Aスクール構想による授業の実施に向けた取組状況について

1 学習支援用アプリの導入に向けた取組み

(1) 導入を予定している学習支援用アプリ

G I G Aスクール構想に基づくICT環境を整備し、児童生徒が自ら課題意識をもって多様な価値観をもつ他者や社会と積極的に関わりながら課題を解決していく探究的な学びや、一人一人の学びを尊重し個別最適化された学びを行うためのツールとして、次の3種類のアプリを導入する。(Cのアプリは10月に導入済み)

A 双方向型授業支援アプリ	教員と児童生徒、児童生徒同士をオンラインで結び、自分の考えを伝え合い、認め合いながら学びを広げ、深めるためのツール。家庭の端末や遠隔にある端末とのコミュニケーションも可能にする。
B 個別学習支援(ドリル)アプリ	子どもたちの学習の理解度に応じて個別最適化された学びを提供する。また、蓄積された学習履歴を指導に活用する。
C 電子会議用アプリ	学校内外で教員と児童生徒をオンラインで結んだり、外部人材にオンラインで授業等に参加してもらったりするなど多様なコミュニケーションを実現する。

(2) アプリ製品の選定方法等(A・Bのアプリ)

事業者の公募に先立ち、教員等を中心としたワーキンググループを設置し、導入するアプリに求める機能等の検討を進めてきた。また、仕様の作成にあたって、2の業務委託事業者による助言を求める。

公募により導入するアプリ製品を選定した上で、契約事業者を選定する。

(3) 契約期間(A・Bのアプリ)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで(製品指定については、令和4年度末までの延長を可能とする)

(4) 想定経費(A・Bのアプリ)

162,653千円

(5) A・Bのアプリの導入に向けたスケジュール(予定)

令和2年11月 区議会第4回定例会に補正予算として提案
11月~ 選定委員会によりアプリ製品の選定
令和3年 1月 契約事業者の選定
2月~ 選定したアプリの活用研究・教員研修の実施
4月 契約の締結
1学期の授業から使用を開始

2 ICTアドバイザー業務委託について

(1) 業務支援内容

1人1台の端末環境を活用した学習を効果的に展開するための仕組みづくりに向け、これまでの学習指導に縛られことなく、別の角度からの視点を取り入れるために、特にICT分野に高い知見を持つ事業者から支援を受ける。

(2) 事業者選定手続

令和2年10月 公募型プロポーザル方式による事業者選定(2社が参加)

令和2年11月 契約を締結

(3) 契約事業者

みずほ情報総研株式会社

(4) 契約期間

令和2年11月～令和3年3月

(5) 契約金額

8,799千円

3 教員の人材育成

(1) 教員のICT活用スキルの把握のための調査

今後の教員の人材育成を効果的に実施するため、教員のICT活用スキルの現状を把握するための調査を令和2年9月に実施した(別紙参照)。

(2) 調査結果の分析と人材育成計画の方向性

(1)の調査結果を2の業務委託事業者とともに分析し、今後のICT活用と教員人材育成方針を検討する。

世田谷区立学校の教員の
I C T活用に関する実態調査
報告書

令和2年10月

世田谷区

目次

1 調査の概要	1
2 回答者の属性	2
3 操作スキル編調査結果	4
(1) ソフト・アプリ別操作スキルの評価	4
(2) 動画配信ソフトの操作スキルの評価	6
(3) 授業支援アプリの操作スキルの評価	8
(4) ビデオ会議アプリの操作スキルの評価	10
(5) ドリル系アプリの操作スキルの評価	12
4 ICT活用指導力編調査結果	14
(1) ICT活用指導スキルの評価	14
(2) オンライン授業の運営についてのICT活用指導スキルの評価	16
(3) 授業中におけるICT活用指導スキルの評価	18
(4) 授業以外の場面におけるデジタル技術を活用した教育活動の評価	22
(5) ICTを活用した家庭学習の支援の評価	24

1. 調査の概要

(1) 調査目的

世田谷区立小・中学校教職員のICT活用に関する実態を把握する。

(2) 調査方法

調査手法：インターネット調査

調査対象：世田谷区立小・中学校教職員

調査期間：令和2年9月10日(木)～9月25日(金)

回収数：2,368 サンプル

報告書の見方

(1) 回答率は有効回収数(回答者限定質問の場合は該当者数)を基数(n)として算出し、小数点第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。

(2) 本文やグラフの選択肢の表記は、場合により語句を簡略化している。

(3) 調査項目

<基本属性>

- | | | |
|-----------|---------|-------------|
| 1. 学校種 | 4. 職層 | 7. ICT 推進担当 |
| 2. 年代 | 5. 所属学年 | |
| 3. 教職経験年数 | 6. 担当教科 | |

<操作スキル編>

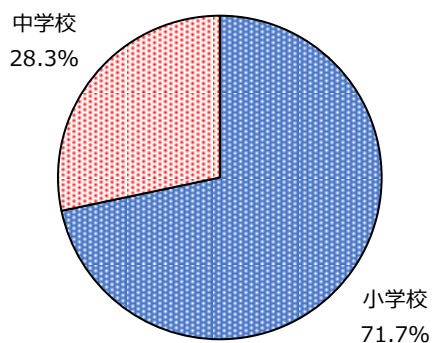
動画配信ソフト(YouTubeなど)の操作スキル	①動画を視聴する
	②動画を撮影して編集する
	③動画を配信する
授業支援アプリ(ロイノートなど)の操作スキル	①自分のアカウントでログインする
	②学習課題を配信する
	③児童生徒が取り組んだ課題を回収する
	④提出された児童生徒の課題等にコメントを記入して返却する
	⑤児童生徒にチャット機能でコメントする
ビデオ会議アプリ(Zoomなど)の操作スキル	①ビデオ会議に参加する
	②ビデオ会議を開催する
	③自分が開催したビデオ会議に児童生徒を参加させる
	④資料を画面共有しながら話す
	⑤ビデオ会議中にグループディスカッションを取り入れる
ドリル系アプリ(ドリルパークなど)の操作スキル	①児童生徒に自分のアカウントでログインさせる
	②児童生徒の進捗状況を確認する
	③学級や個人の学習履歴を確認する
	④自分でドリルを作成して公開する

<ICT活用指導力編>

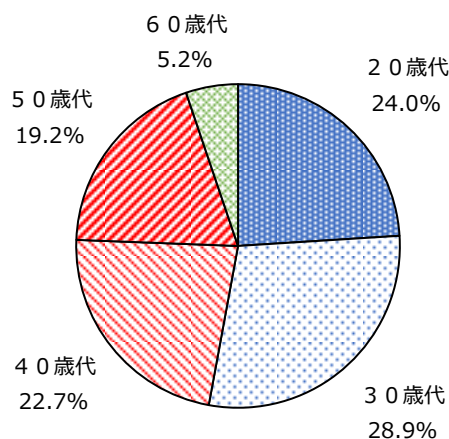
オンライン授業の運営(臨時休業中等を含めて)について	①児童生徒に対して撮影・録画した授業内容を配信する ②児童生徒に対してビデオ会議で授業をする ③児童生徒の関心を高めるための動画や写真等の教材を提示しながらビデオ会議で授業する ④個別もしくは少人数グループの児童生徒に対してビデオ会議で学習や生活上の支援・相談をする(不登校対応を含む)
授業中におけるICTの活用について	①児童生徒の関心を高めるための動画や写真等の教材を教室で投影する ②授業で使うプリントや資料等の提示、やり取りを行う ③児童生徒が互いの意見や考え方、作品を示し合ったり話し合ったりできるよう支援する ④児童生徒が自分の意見を言いやすくなるように助言・支援をする ⑤児童生徒が互いに協働し、話し合っって考えを整理できるように支援する ⑥児童生徒が互いに協働し、レポートや資料、作品を制作するように支援する ⑦児童生徒が自分の興味や関心に応じ、学びを深められるように支援する ⑧児童生徒が自分の興味や関心のある事項、苦手な事項など繰り返し学習できるように個別に支援する ⑨児童生徒がそれぞれの理解・習熟の程度に応じて学べるように個別に支援する ⑩児童生徒が調べたことや自分の考えを整理し、文章や図表などを使ってまとめられるように支援する ⑪児童生徒がまとめたことを発表、プレゼンテーションできるように支援する
授業以外の場面におけるデジタル技術を活用した教育活動	①児童生徒や家庭・保護者とコミュニケーションを行う ②家庭・保護者に向けて添付ファイル等で情報発信する(学年通信等) ③児童生徒に対して課題の提示、受取り(提出)、課題に対してコメントする ④児童生徒の人間関係を深められるように支援する
ICTを活用した家庭学習の支援	①児童生徒が後で授業を振り返り学べるように支援する ②児童生徒が積極的に家庭学習できるような課題を提示する ③児童生徒を家庭学習でひとつの課題に対して自分で調べたり考えをまとめたりする学習に取り組ませる ④児童生徒がわからない点を質問できるようにし、答える

2. 回答者の属性

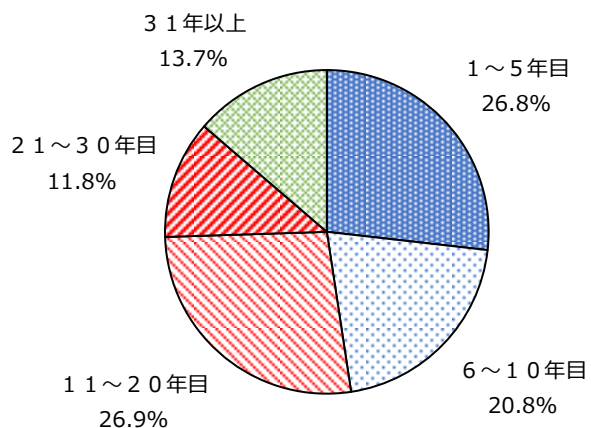
(1) 学校種(n=2,368)



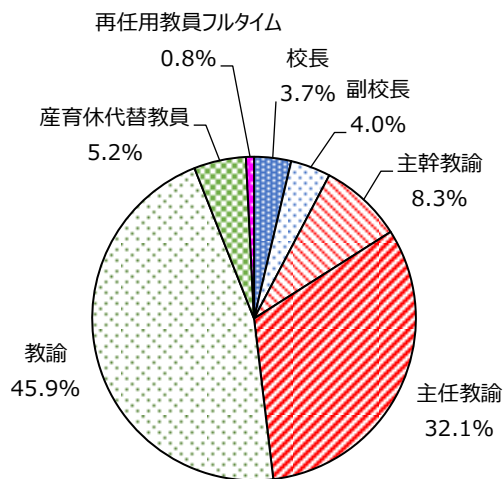
(2) 年代(n=2,368)



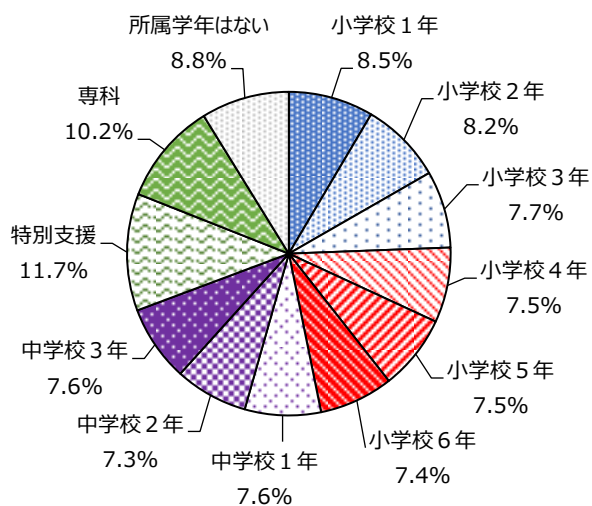
(3) 教職経験年数 (n=2,368)



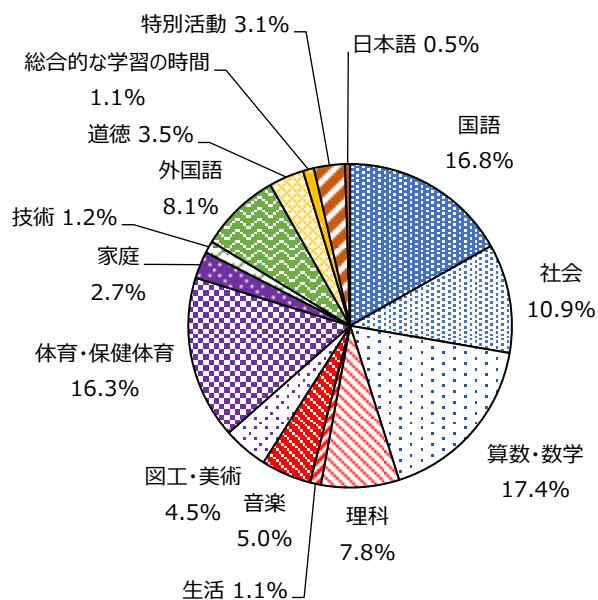
(4) 職層 (n=2,368)



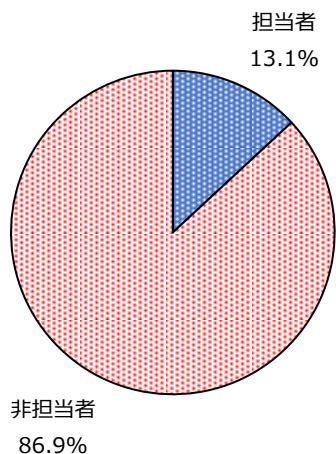
(5) 所属学年 (n=2,368)



(6) 担当教科 (n=2,368)



(7) ICT 推進担当 (n=2,368)



3. 操作スキル編調査結果

(1) ソフト・アプリ別操作スキルの評価

各アプリ・ソフトの具体的な操作について、最もあてはまる評価尺度をひとつ選んでもらった。評価尺度の定義を下表に示す。

評価尺度	定義
できる	自分で調べたり操作できる人に聞いたりしなくても端末やアプリなどを活用できる
ほぼできる	自分で調べたり操作できる人に聞いたりすれば、人が近くでサポートしなくても端末やアプリなどを活用できる
あまりできない	操作についての研修を受けたり自分で調べたりしても慣れるまでは人が近くでサポートしないと端末やアプリなどを活用できない
できない	常に操作できる人が近くでサポートしないと端末やアプリなどを活用できない

具体的な操作についての回答をソフト・アプリ別で合算した結果を図 3-1 に示す。

また、各評価尺度に以下の点数をつけて平均点を算出した結果が図 3-2 である。

できる:4点 ほぼできる:3点 あまりできない:2点 できない:1点

図 3-1 ソフト・アプリ別操作スキルの評価

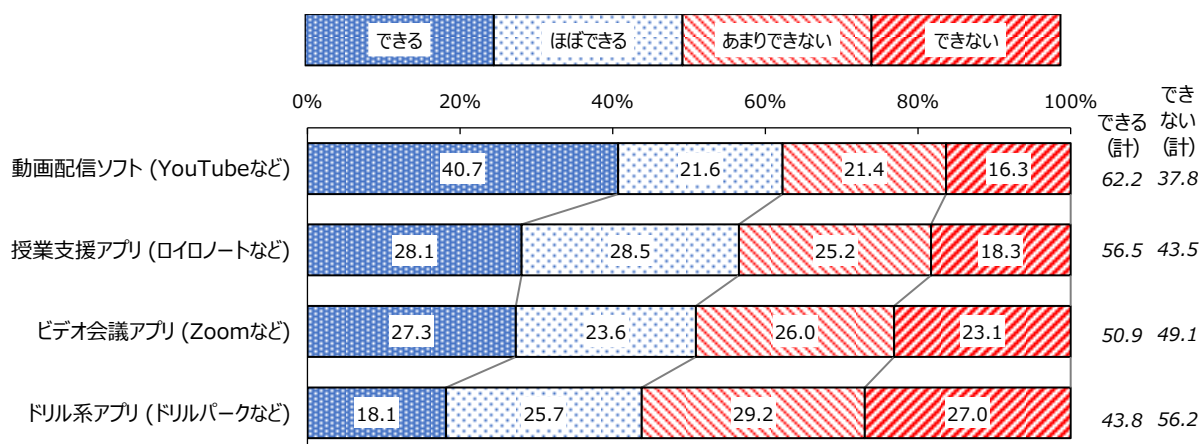
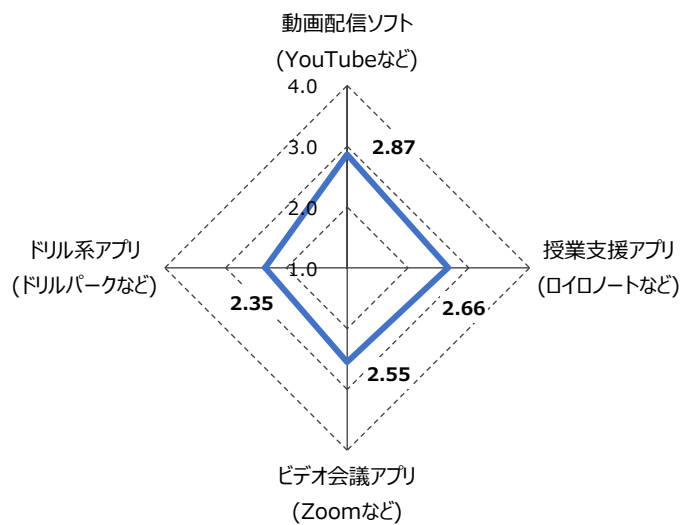


図 3-2 ソフト・アプリ別操作スキルの平均点



注)『動画配信ソフト』『授業支援アプリ』『ビデオ会議アプリ』はn=2,368、『ドリル系アプリ』は n=671 (中学校教職員のみ対象)

(2) 動画配信ソフトの操作スキルの評価

動画配信ソフト(YouTube など)の操作スキルの評価を図 3-3～3-5 に示す。

図 3-3 動画配信ソフトの操作スキルの評価 (n=2,368)

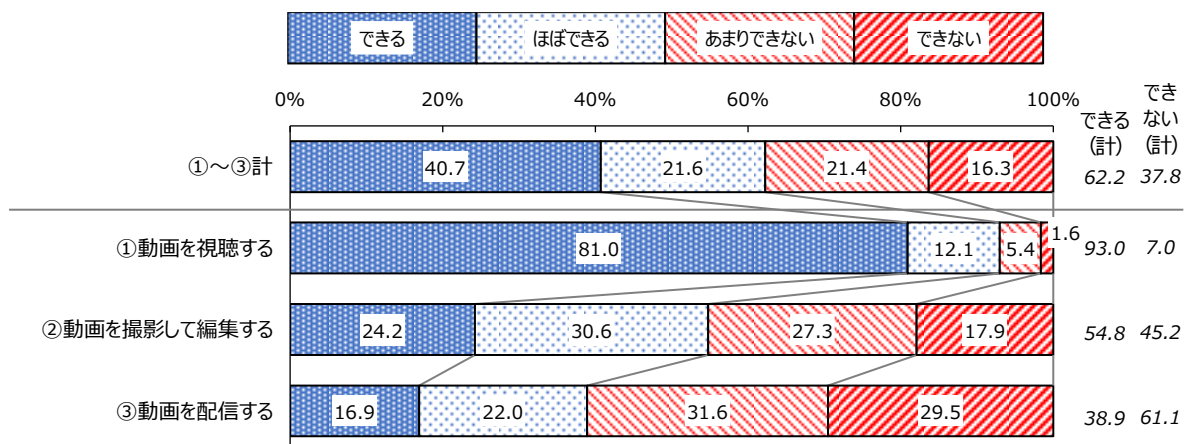


図 3-4 動画配信ソフトの操作スキルの平均点 (n=2,368)

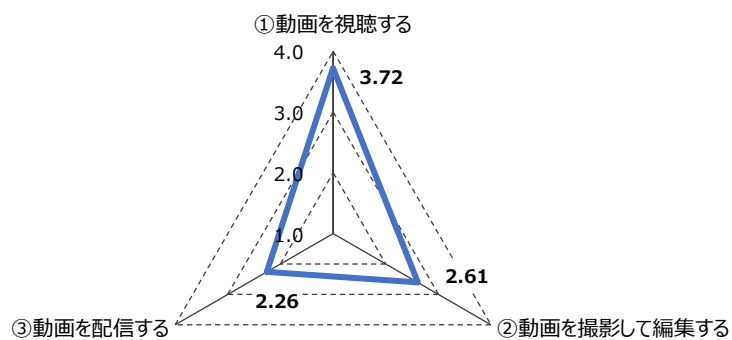
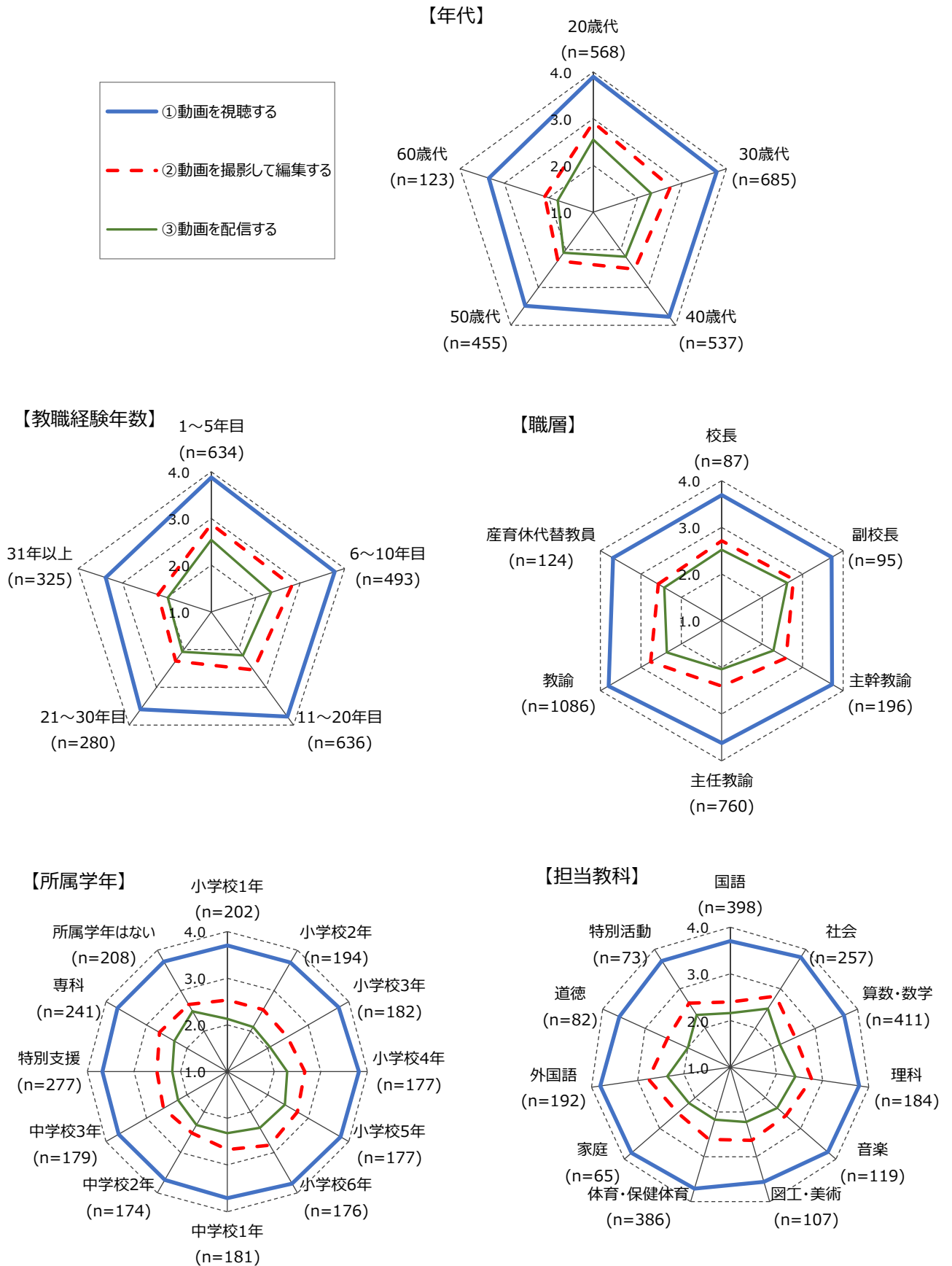


図 3-5 動画配信ソフトのカテゴリー別平均点



注) 回答数(n)が30未満のカテゴリーは除外した。

(3) 授業支援アプリの操作スキルの評価

授業支援アプリ(ロイロノートなど)の操作スキルの評価を図 3-6～3-8 に示す。

図 3-6 授業支援アプリの操作スキルの評価 (n=2,368)

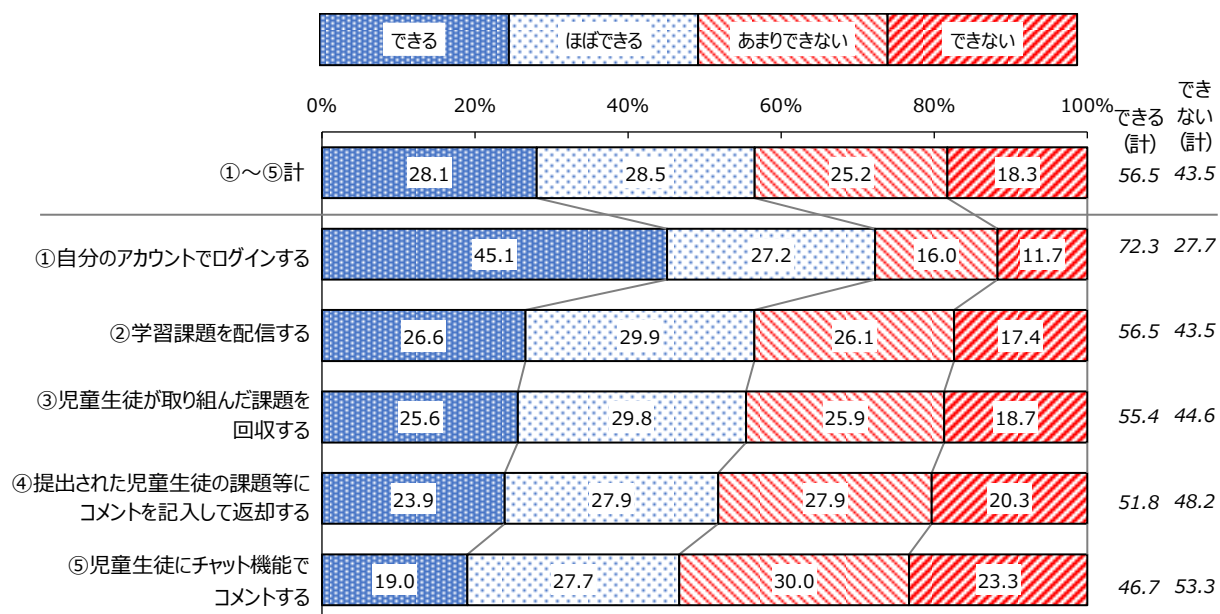


図 3-7 授業支援アプリの操作スキルの平均点 (n=2,368)

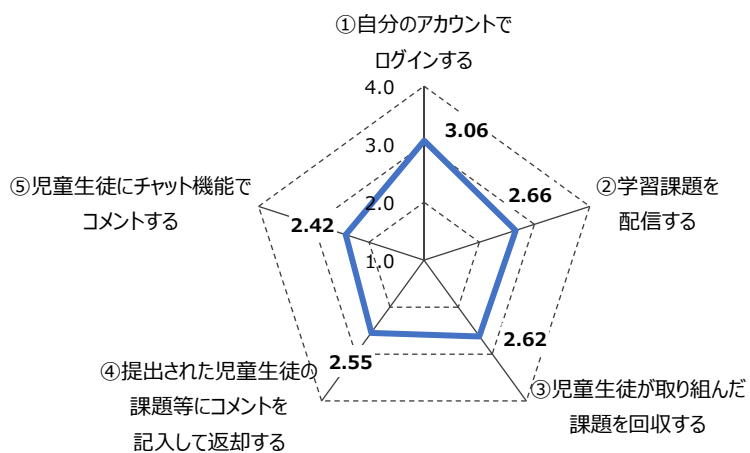
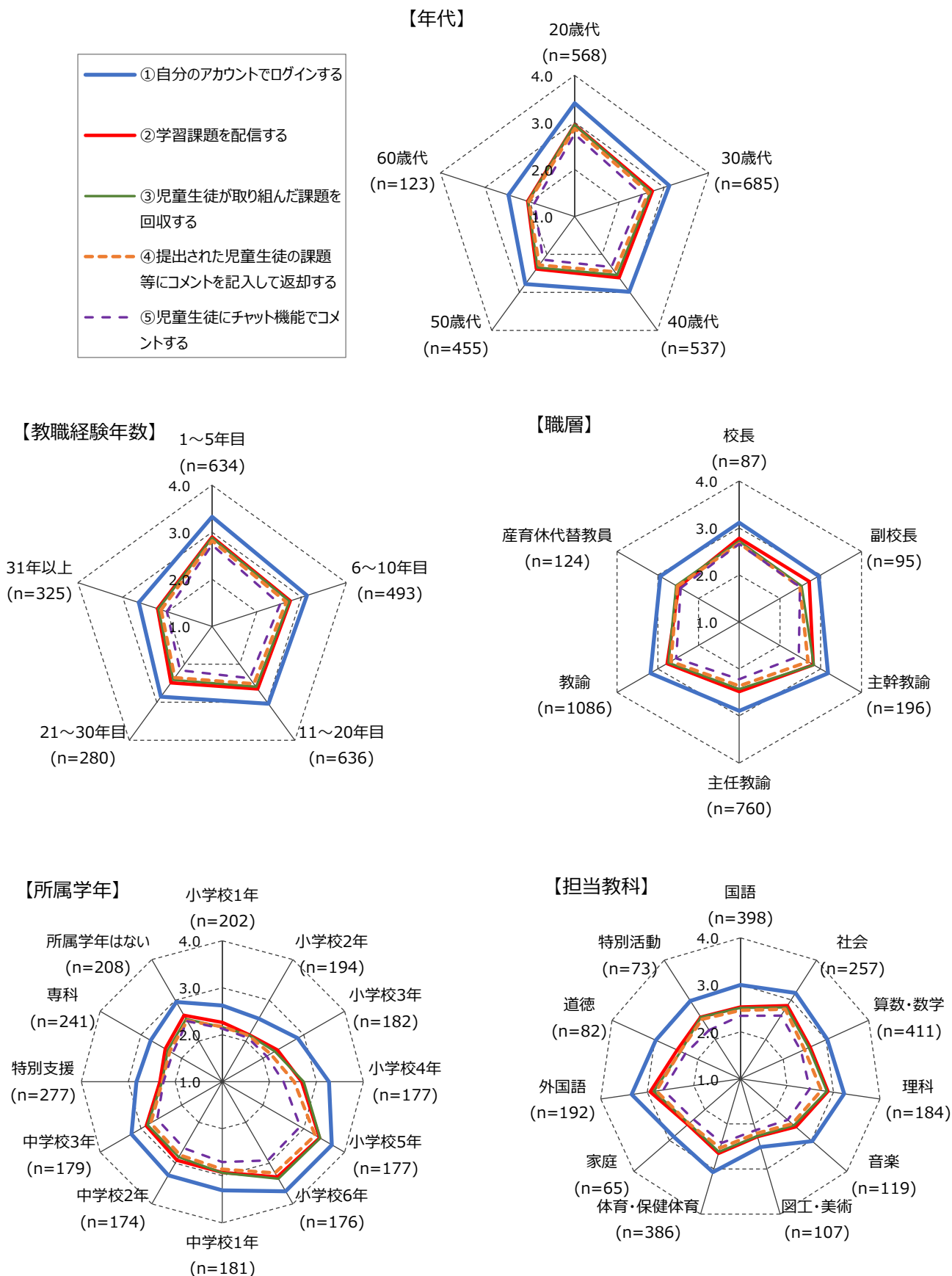


図 3-8 授業支援アプリの 카테고리別平均点



注) 回答数(n)が30未満のカテゴリは除外した。

(4) ビデオ会議アプリの操作スキルの評価

ビデオ会議アプリ(Zoom など)の操作スキルの評価を図 3-9～3-11 に示す。

図 3-9 ビデオ会議アプリの操作スキルの評価 (n=2,368)

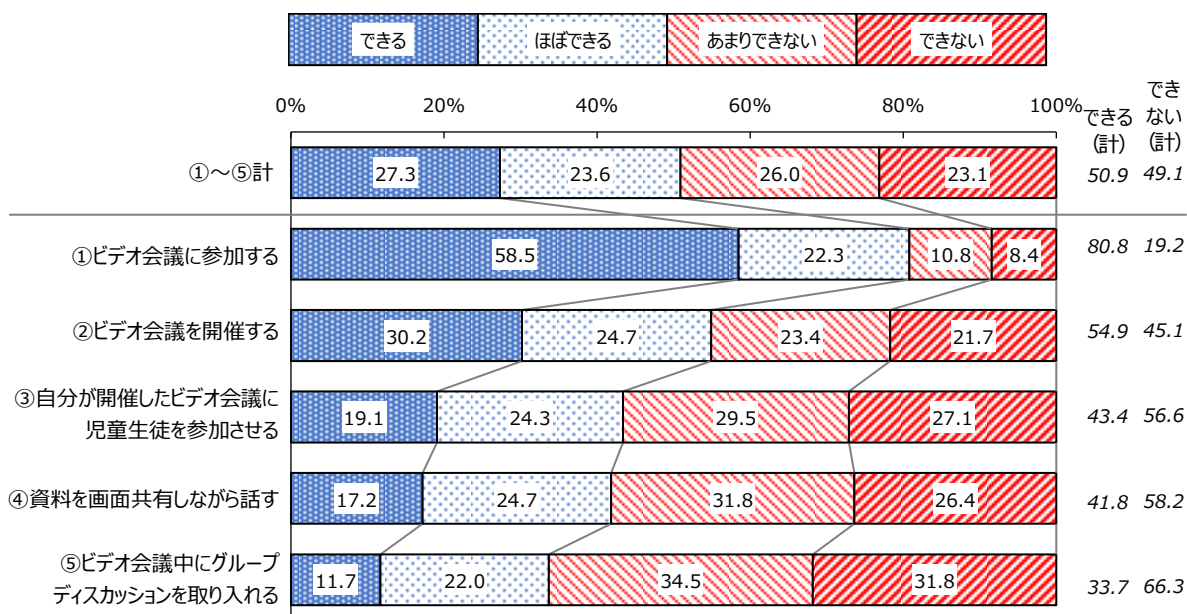


図 3-10 ビデオ会議アプリの操作スキルの平均点 (n=2,368)

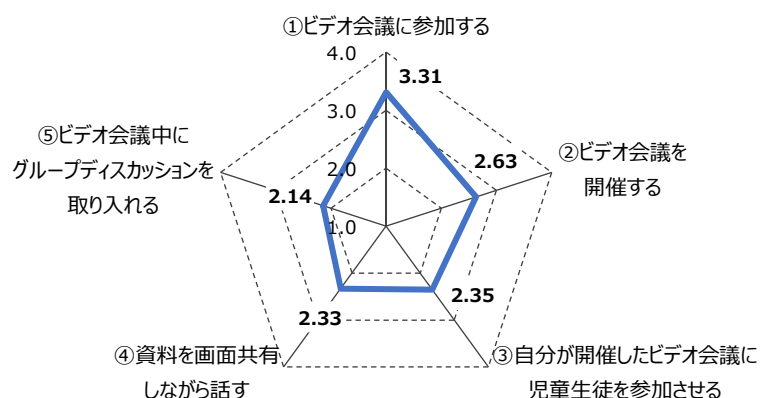
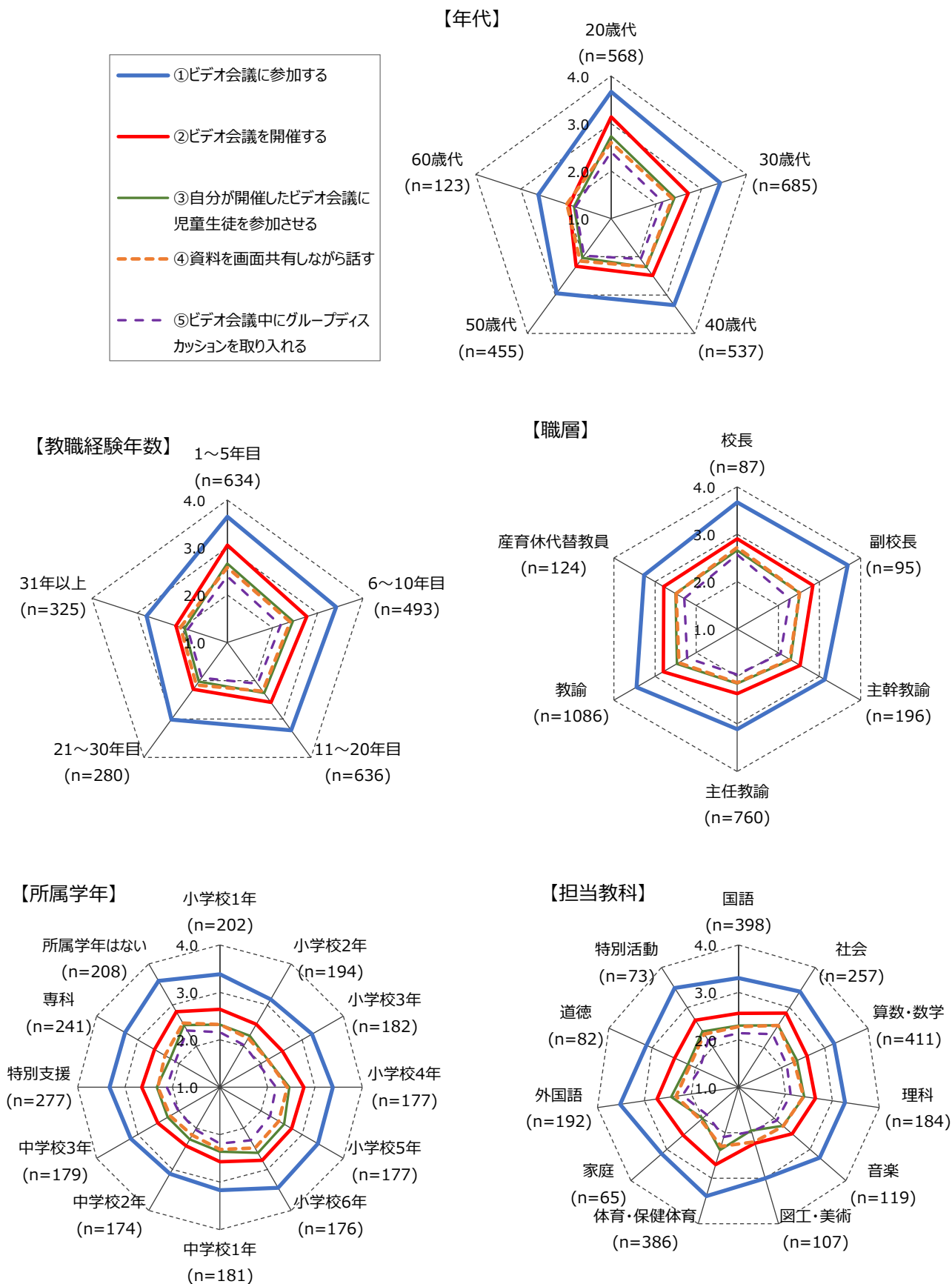


図 3-11 ビデオ会議アプリの 카테고리別平均点



注) 回答数(n)が30未満のカテゴリは除外した。

(5) ドリル系アプリの操作スキルの評価

ドリル系アプリ(ドリルパークなど)の操作スキルの評価を図 3-12～3-14 に示す。

なお、回答対象者は中学校教職員のみである。

図 3-12 ドリル系アプリの操作スキルの評価 (n=671)

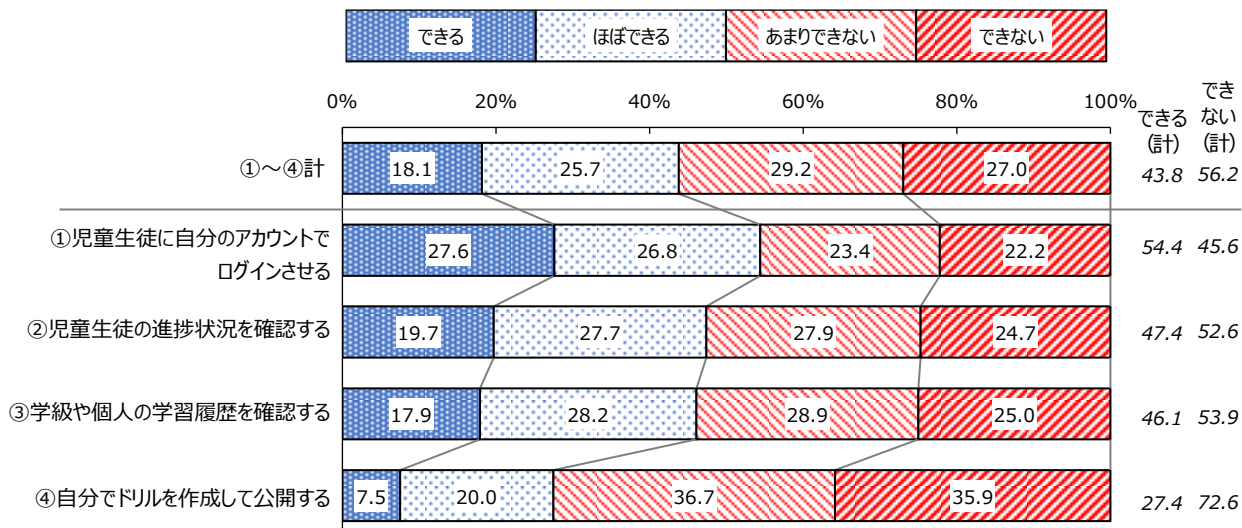


図 3-13 ドリル系アプリの操作スキルの平均点 (n=671)

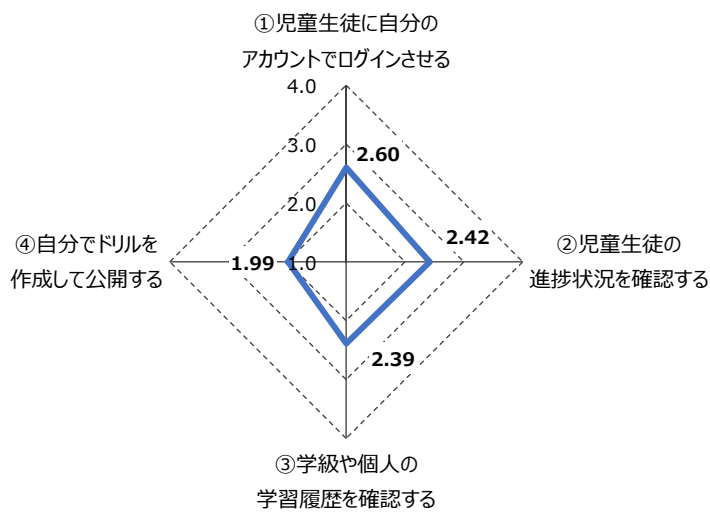
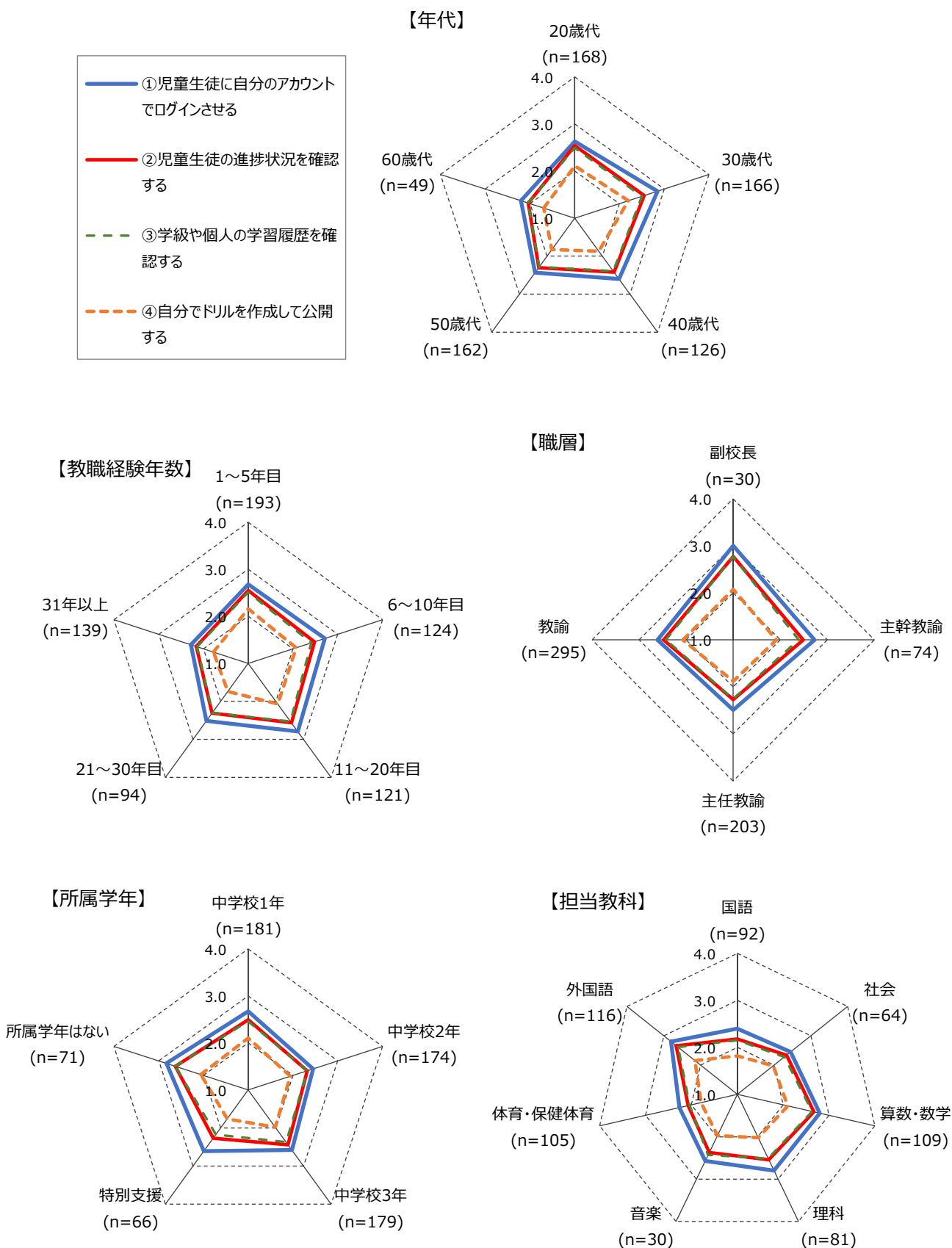


図 3-14 ドリル系アプリの 카테고리別平均点



注) 回答数(n)が30未満のカテゴリは除外した。

4. ICT 活用指導力編調査結果

(1) ICT 活用指導スキルの評価

各項目の具体的な内容について、最もあてはまる評価尺度をひとつ選んでもらった。評価尺度の定義を下表に示す。

評価尺度	定義
できる	自分で調べたり操作できる人に聞いたりしなくても端末やアプリなどを活用して行える
ほぼできる	自分で調べたり操作できる人に聞いたりすれば、人が近くでサポートしなくても端末やアプリなどを活用して行える
あまりできない	操作についての研修を受けたり自分で調べたりしても慣れるまでは人が近くでサポートしないと端末やアプリなどを活用して行えない
できない	常に操作できる人が近くでサポートしないと端末やアプリなどを活用して行えない

具体的な内容についての回答を項目別で合算した結果を図 4-1 に示す。

また、各評価尺度に以下の点数をつけて平均点を算出した結果が図 4-2 である。

できる:4点 ほぼできる:3点 あまりできない:2点 できない:1点

図 4-1 ICT 活用指導スキルの評価 (n=2,368)

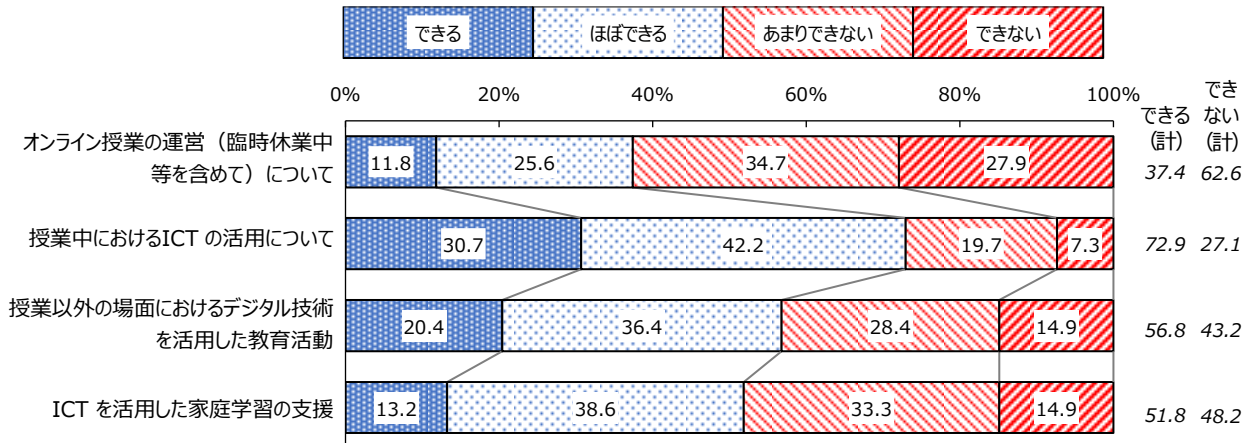
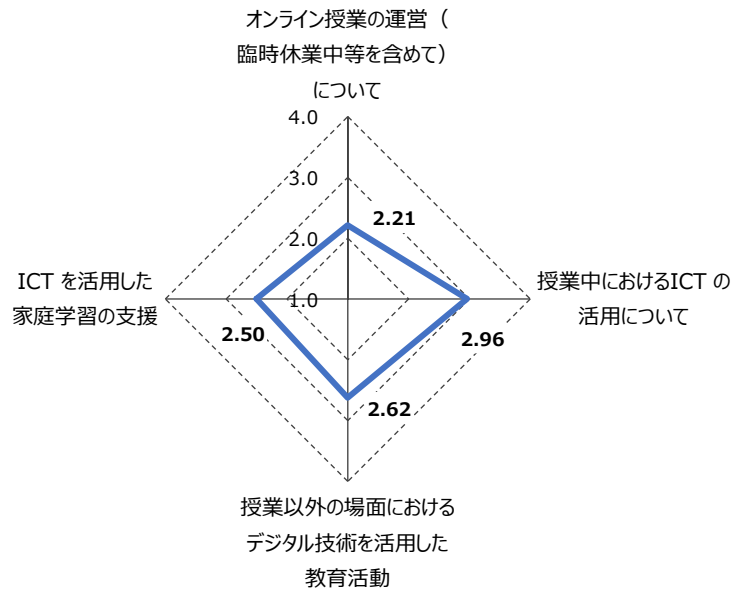


図 4-2 ICT 活用指導スキルの平均点 (n=2,368)



(2) オンライン授業の運営についての ICT 活用指導スキルの評価

オンライン授業の運営(臨時休業中等を含めて)についての ICT 活用指導スキルの評価を図 4-3~4-5 に示す。

図 4-3 オンライン授業の運営についての ICT 活用指導スキルの評価 (n=2,368)

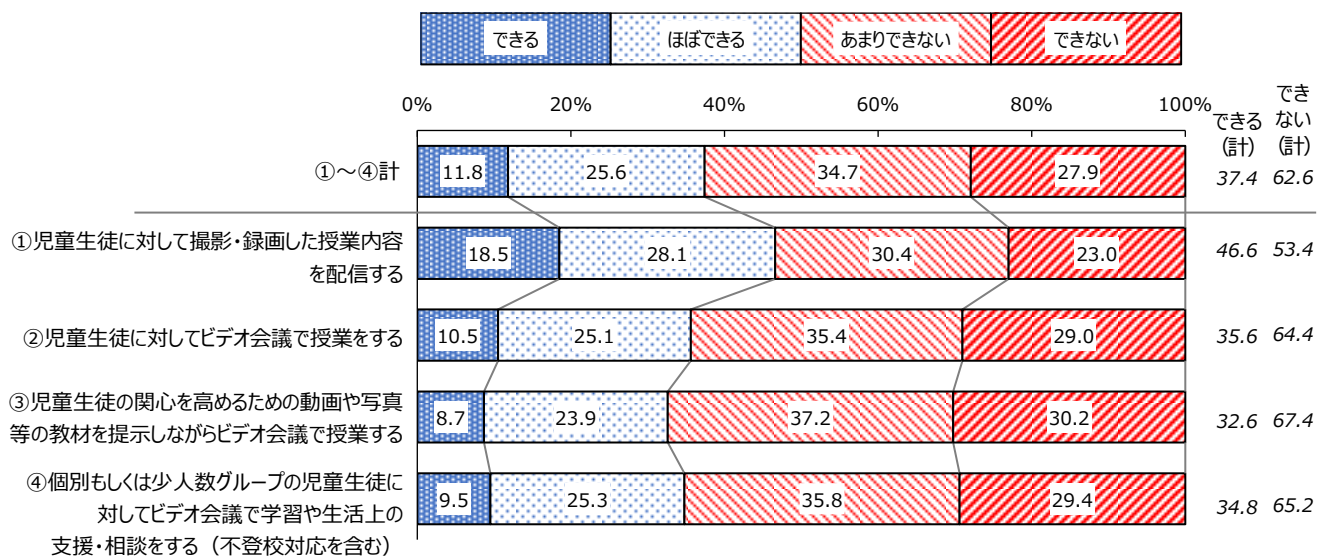


図 4-4 オンライン授業の運営についての ICT 活用指導スキルの平均点 (n=2,368)

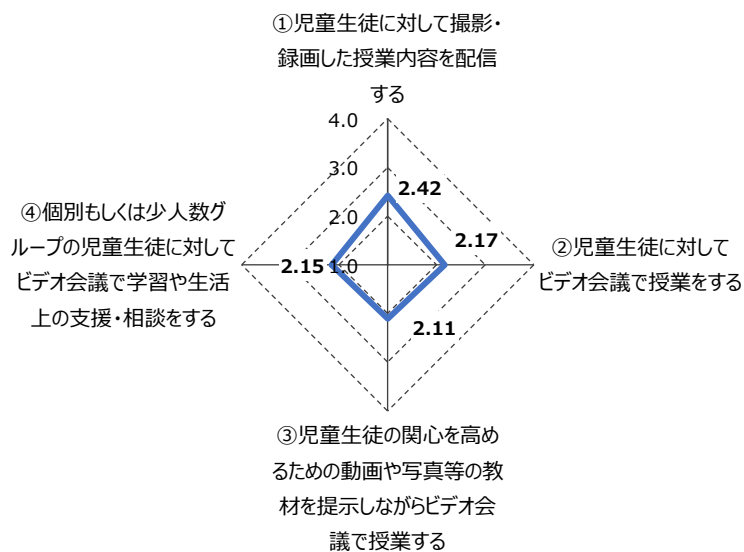
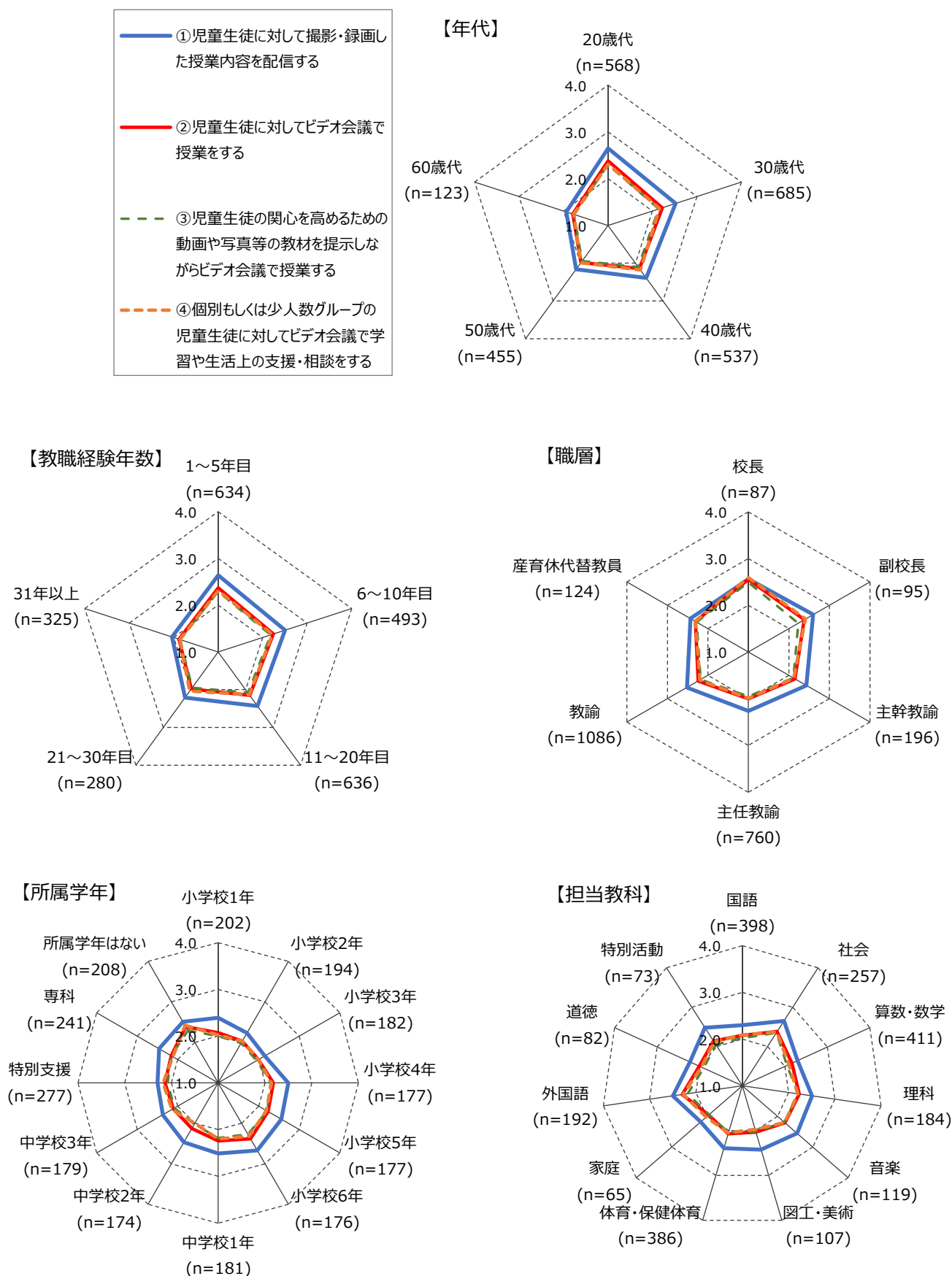


図 4-5 オンライン授業の運営についてのカテゴリ別平均点



注) 回答数(n)が30未満のカテゴリは除外した。

(3) 授業中における ICT 活用指導スキルの評価

授業中における ICT 活用指導スキルの評価を図 4-6～4-10 に示す。

図 4-6 授業中における ICT 活用指導スキルの評価 (n=2,368)

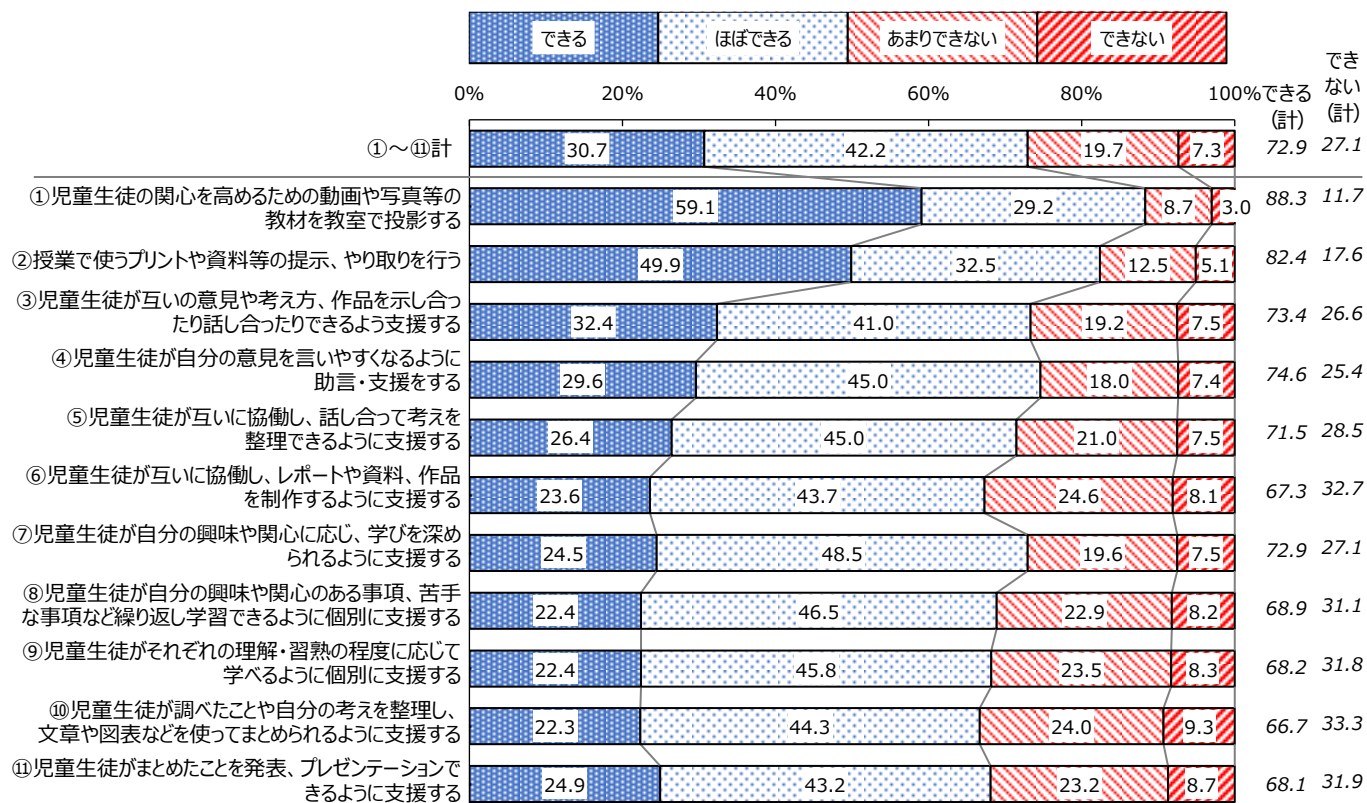


図 4-7 授業中における ICT 活用指導スキルの平均点 (n=2,368)

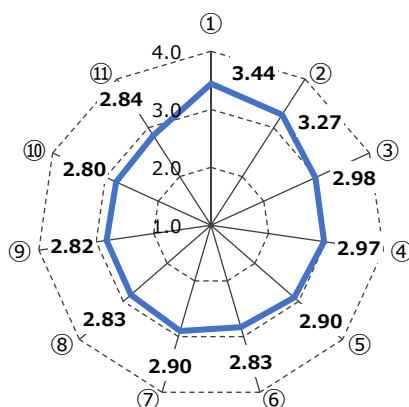
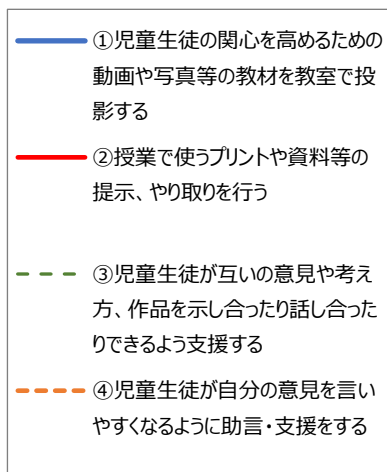
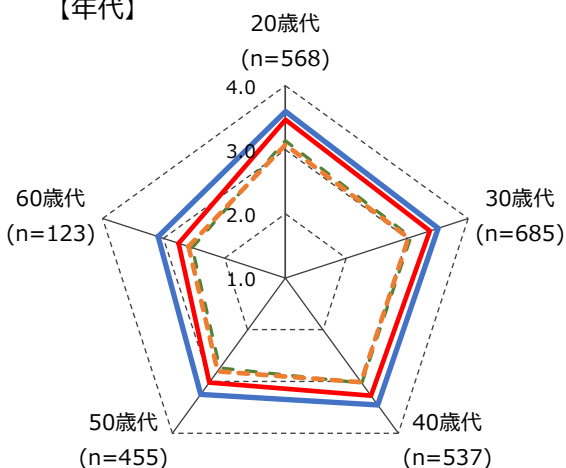


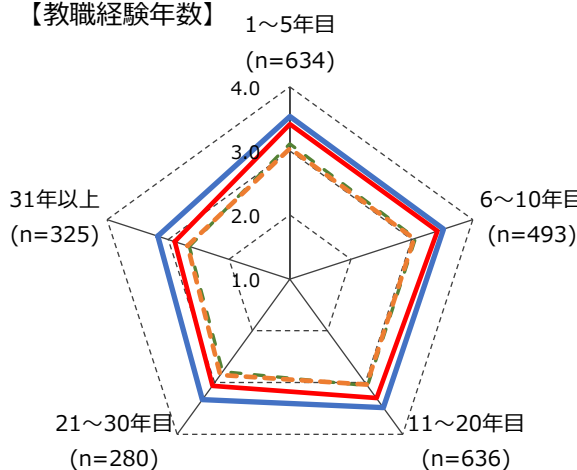
図 4-8 授業中における ICT 活用指導スキルのカテゴリ別平均点(①~④)



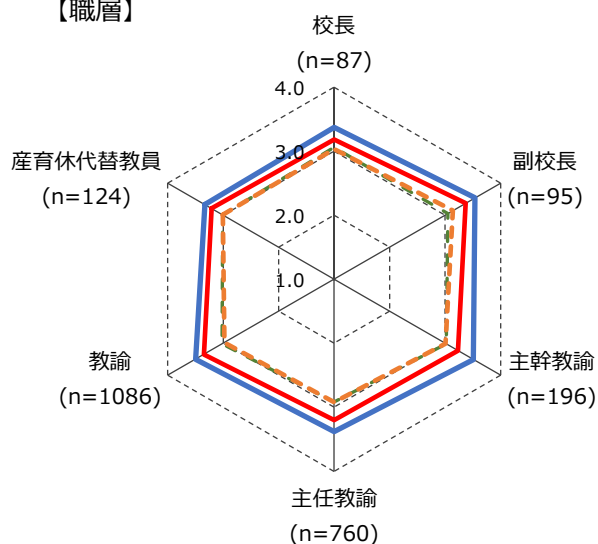
【年代】



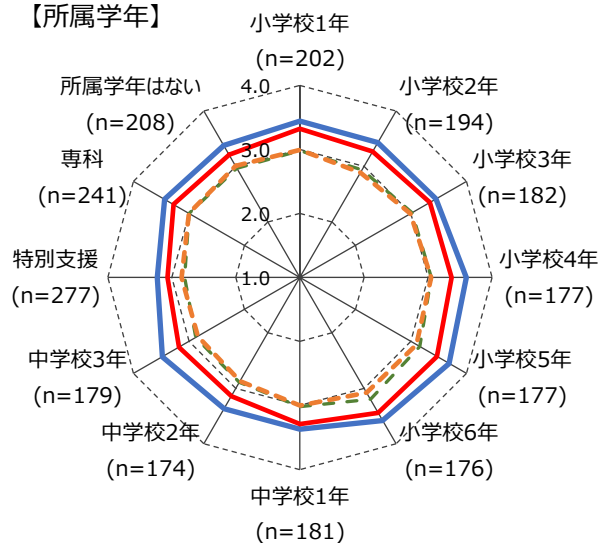
【教職経験年数】



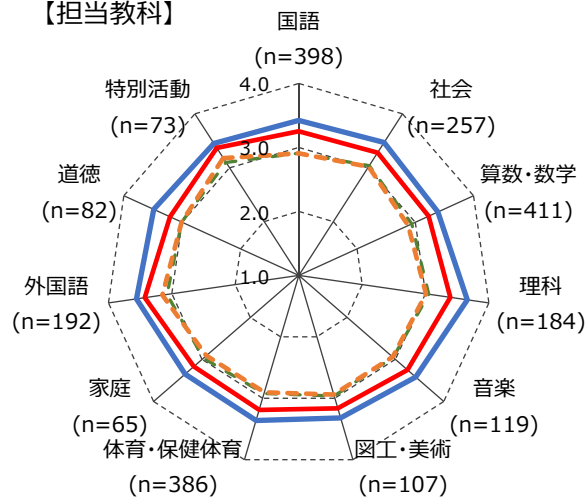
【職層】



【所属学年】

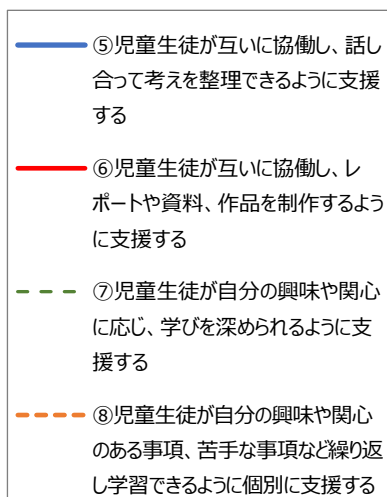


【担当教科】

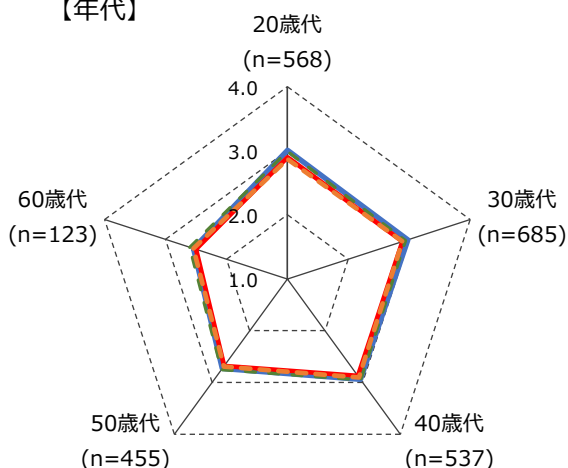


注) 回答数(n)が30未満の категорияは除外した。

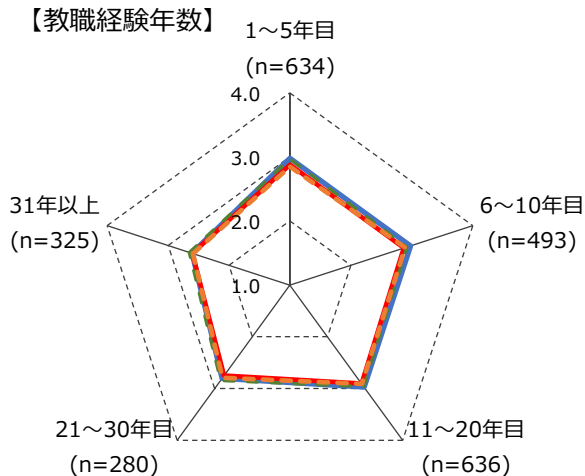
図 4-9 授業中における ICT 活用指導スキルのカテゴリ一別平均点(⑤~⑧)



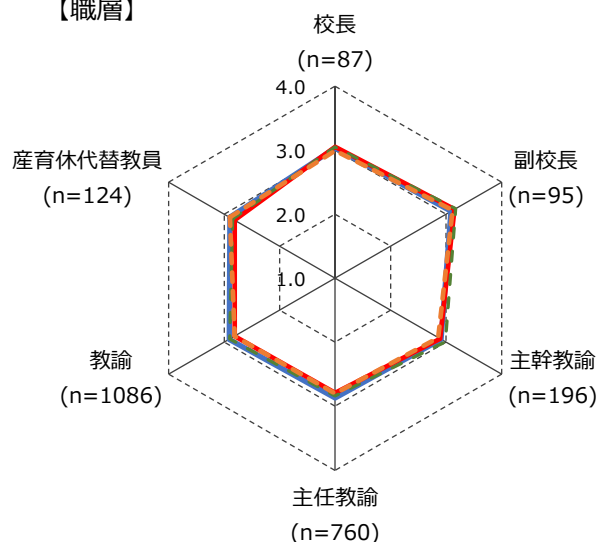
【年代】



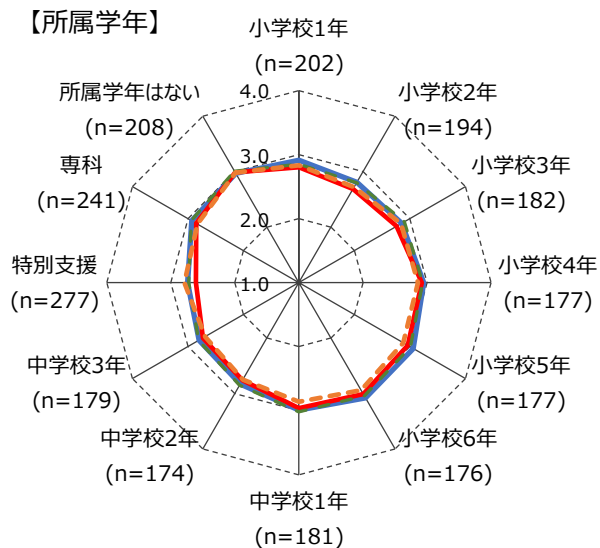
【教職経験年数】



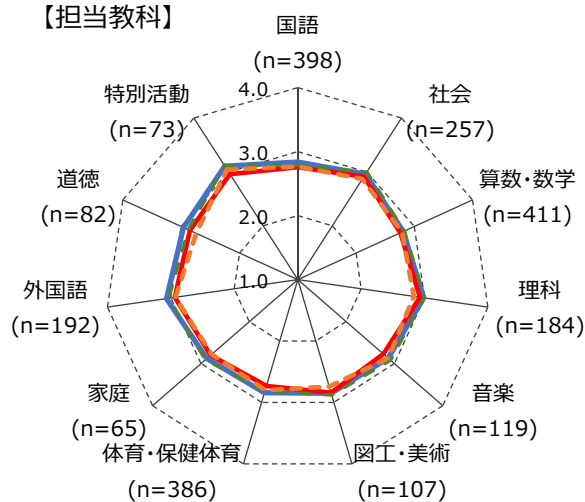
【職層】



【所属学年】

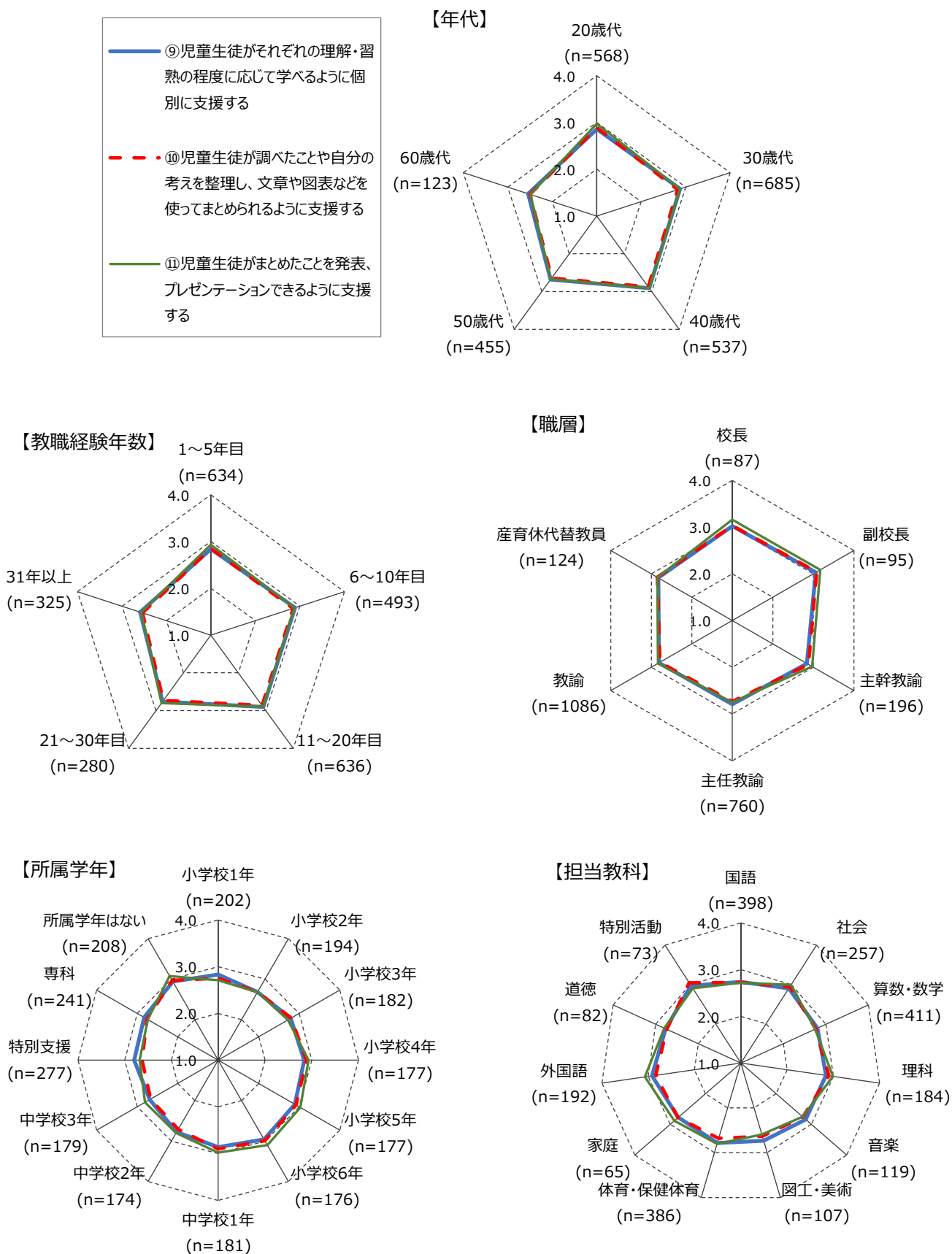


【担当教科】



注) 回答数(n)が30未満のカテゴリーは除外した。

図 4-10 授業中における ICT 活用指導スキルのカテゴリー別平均点 (⑨～⑪)



注) 回答数(n)が30未満のカテゴリーは除外した。

(4) 授業以外の場面におけるデジタル技術を活用した教育活動の評価

授業以外の場面におけるデジタル技術を活用した教育活動の評価を図 4-11～4-13 に示す。

図 4-11 授業以外の場面におけるデジタル技術を活用した教育活動の評価 (n=2,368)

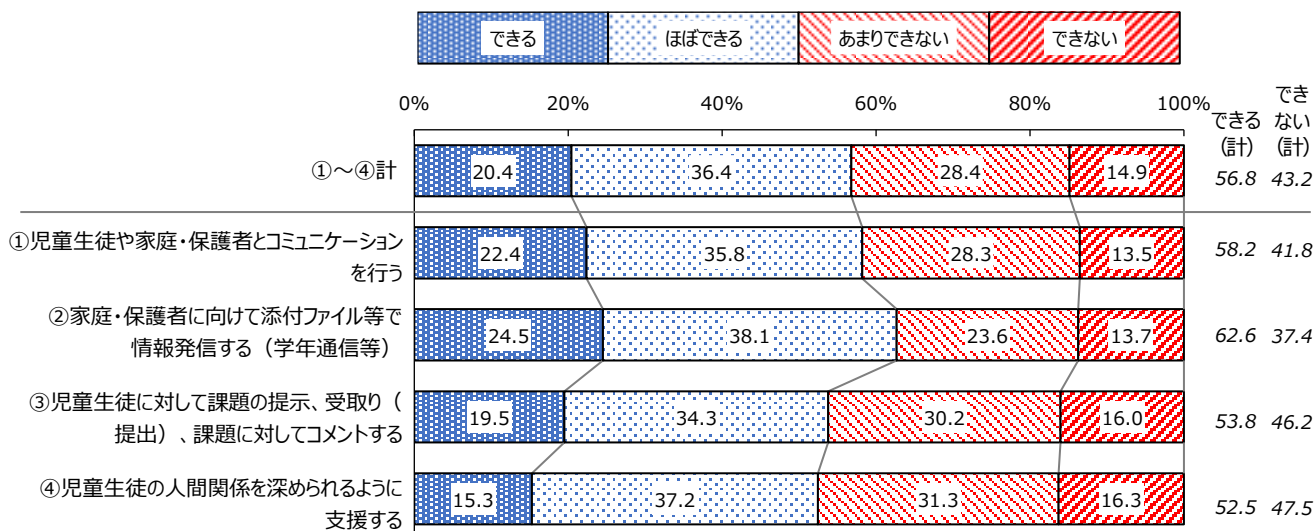


図 4-12 授業以外の場面におけるデジタル技術を活用した教育活動の平均点 (n=2,368)

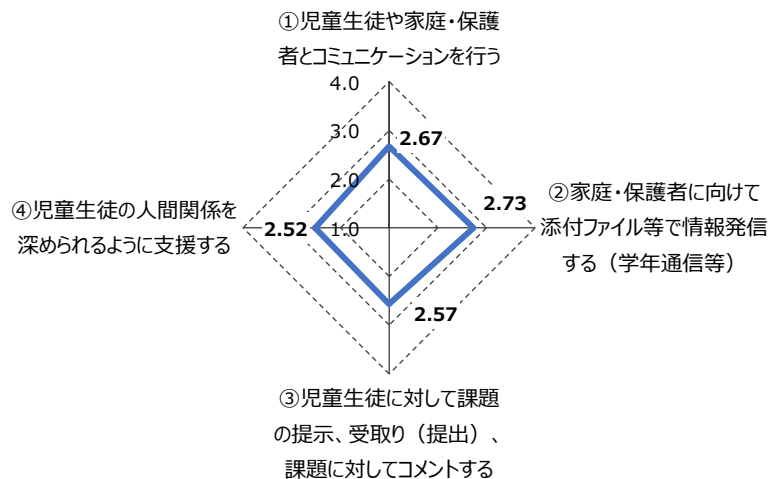
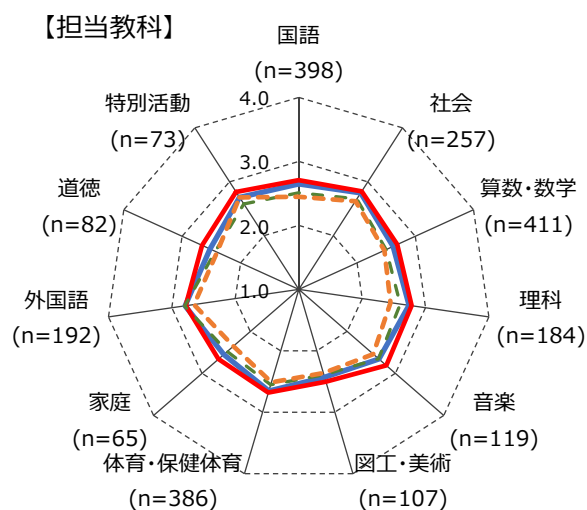
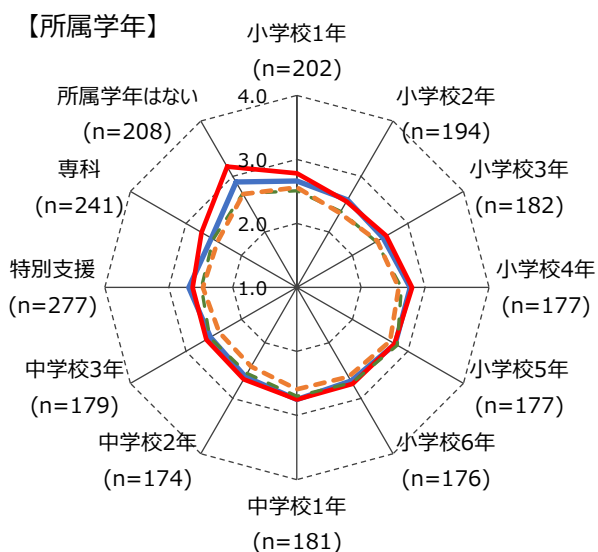
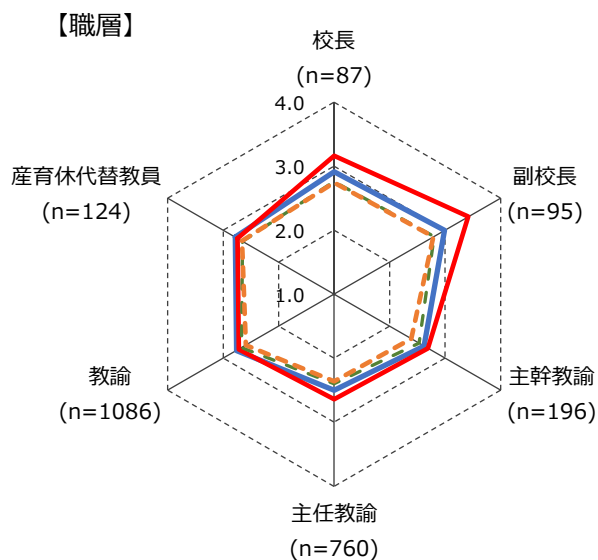
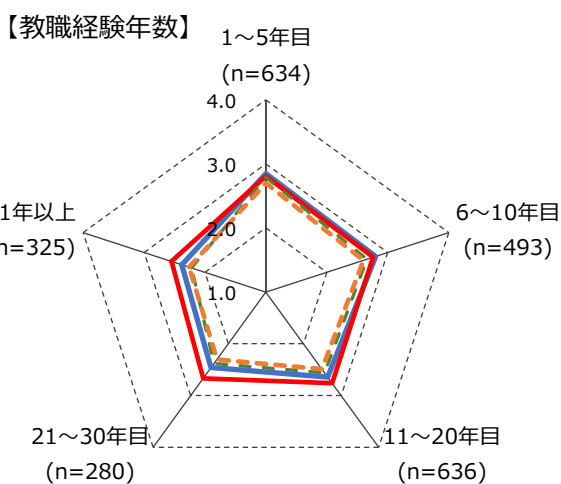
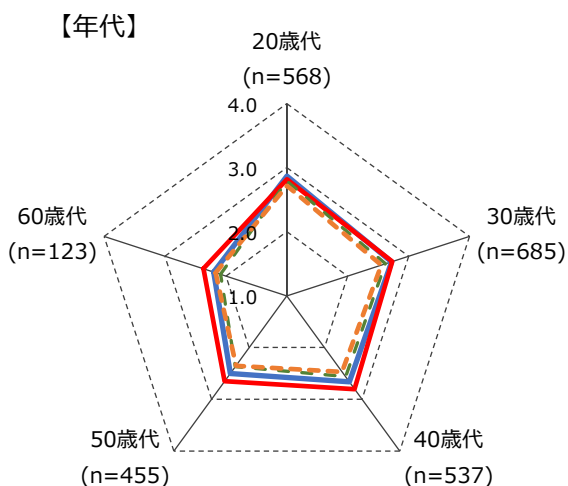
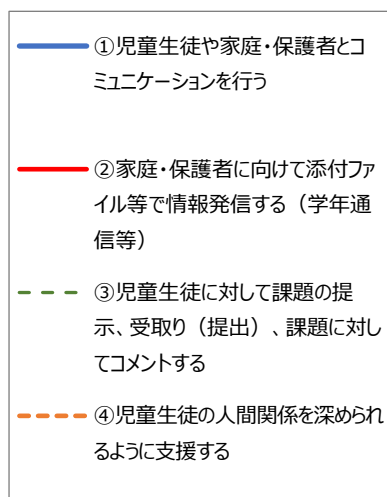


図 4-13 授業以外の場面におけるデジタル技術を活用した教育活動の 카테고리別平均点



注) 回答数(n)が30未満のカテゴリは除外した。

(5) ICT を活用した家庭学習の支援の評価

ICT を活用した家庭学習の支援の評価を図 4-14～4-16 に示す。

図 4-14 ICT を活用した家庭学習の支援の評価 (n=2,368)

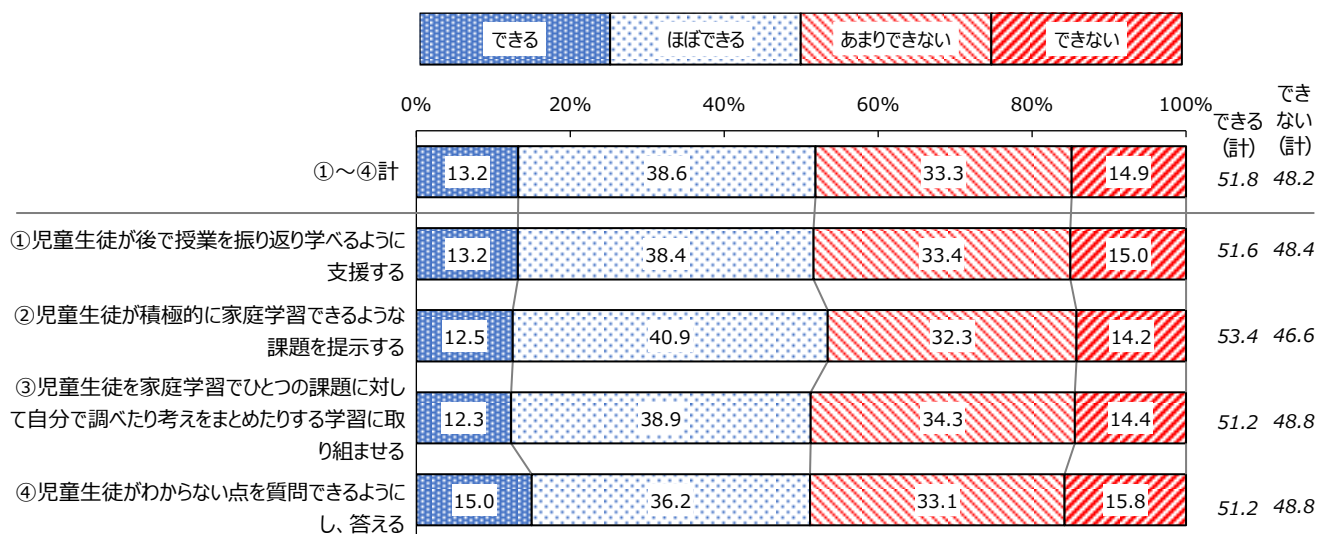


図 4-15 ICT を活用した家庭学習の支援の平均点 (n=2,368)

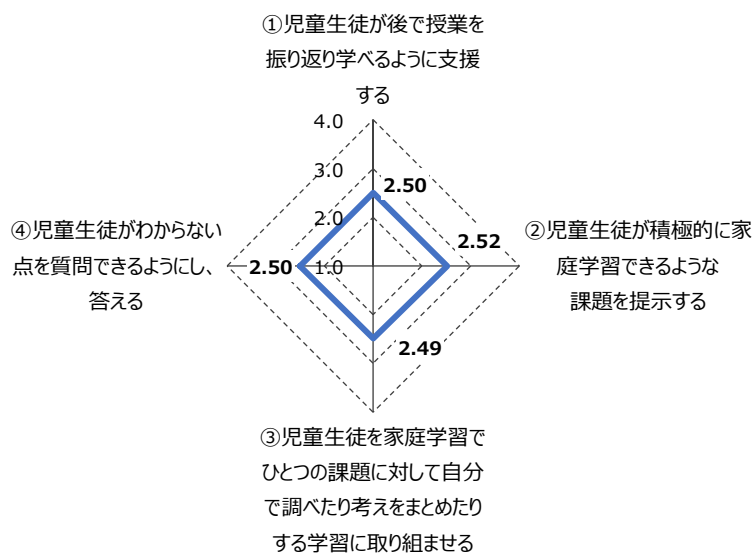
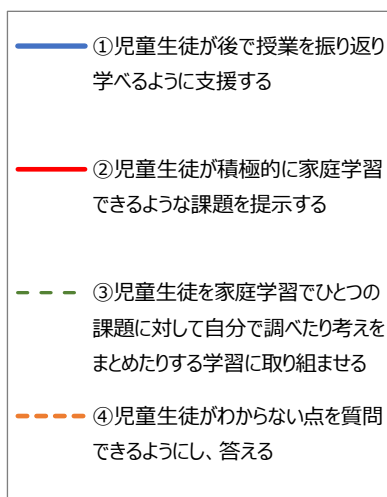
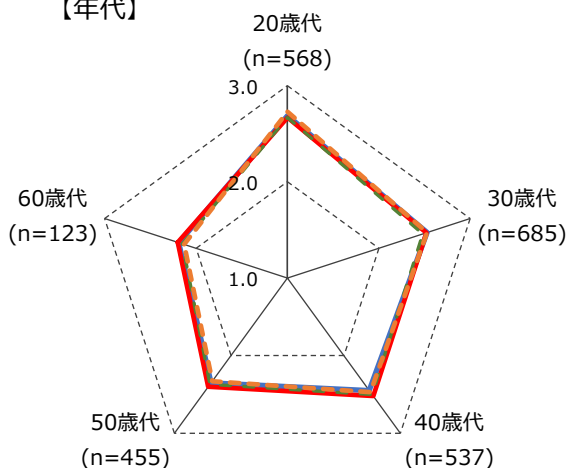


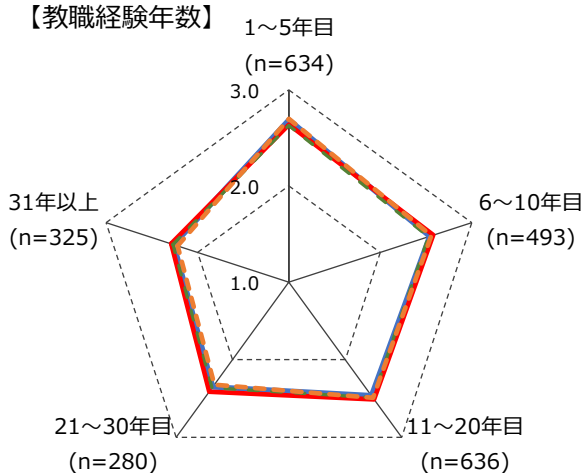
図 4-16 ICT を活用した家庭学習の支援の 카테고리別平均点



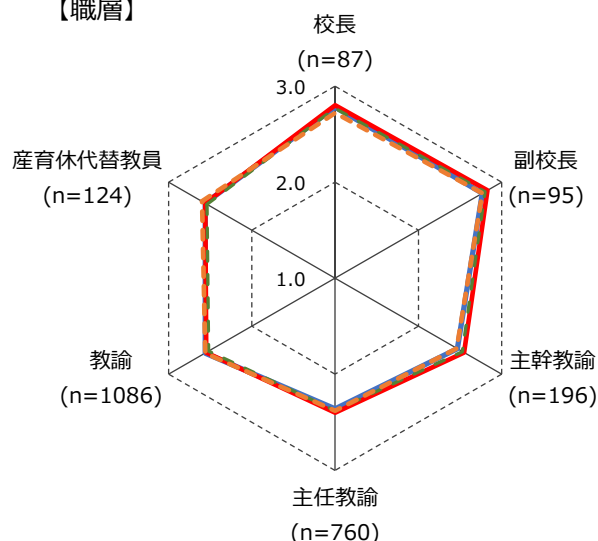
【年代】



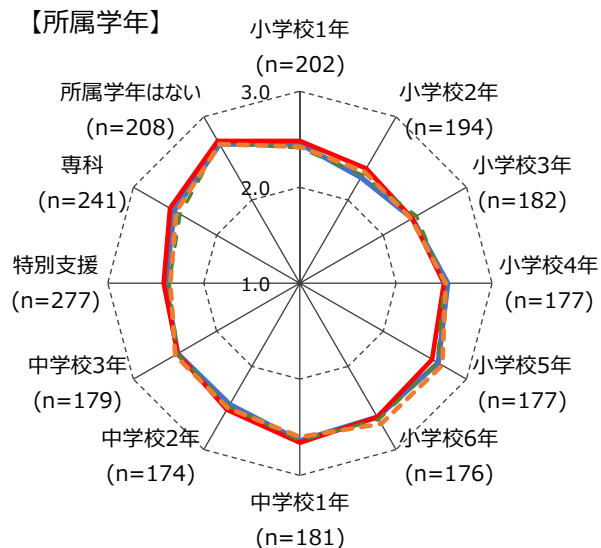
【教職経験年数】



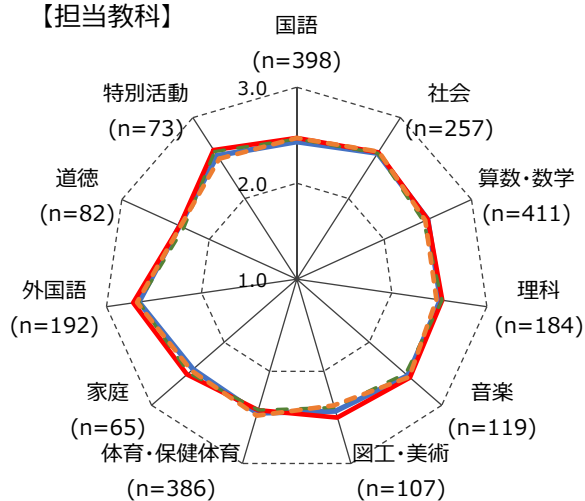
【職層】



【所属学年】



【担当教科】



注) 回答数(n)が30未満のカテゴリは除外した。